

FBK-50000-PS17 [電池内蔵型]

照明器具の電気工事は、主任電気工事士の管理が義務付けられています。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

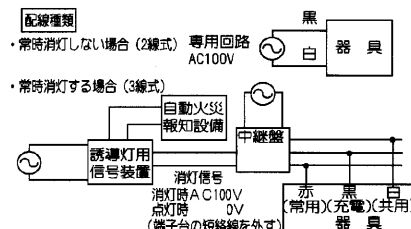
安全に関するご注意

警告

- 施工は、取付方法にしたがい確実に行ってください。
施工に不備があると正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数以外の電源で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 蓄電池を短絡・分解等しないでください。火災・感電・破裂・やけどの原因となります。

注意

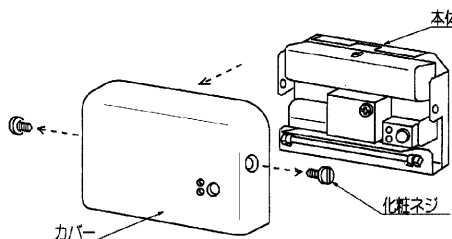
- この器具は一般屋内用器具です。雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
火災・感電・落下の原因となります。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しないでください。
- この器具の電源は誘導灯専用回路にしてください。
- この器具は常時、連続点灯し使用してください。
常時、消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。
- 24時間充電後→非常点灯確認してください。電池は設置後通電し、充電しないと点灯しません。



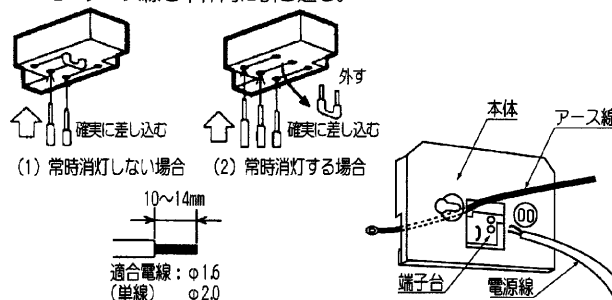
器具の取付方法

- 1 取付準備**
器具質量(0.5kg)に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。
不備があると落下の原因となります。

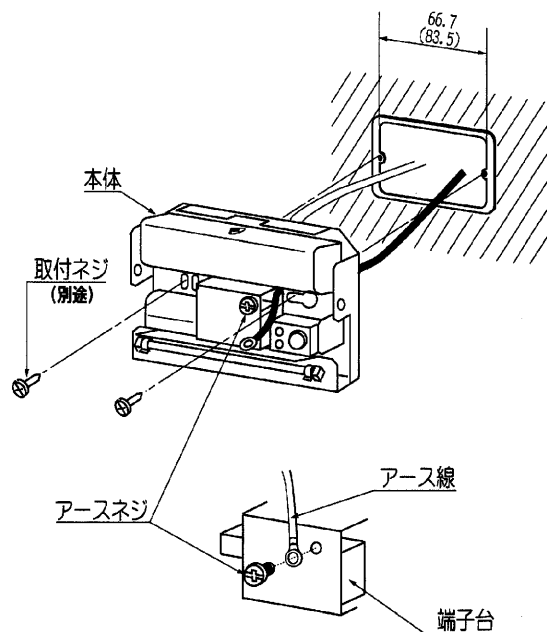
- 2 取付準備**
1 化粧ネジ(左右2箇所)をゆるめ、カバーを外す。



- 3 電源線接続・アース線引き込み**
1 電源線を本体背面より接続する。
端子台の容量は20Aです。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。
2 アース線を本体内に引き込む。



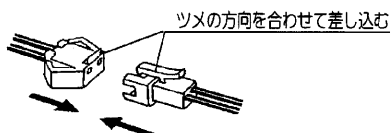
- 4 本体取付・アース線接続**
1 ランプが下側にくるように本体を取付ける。
不備があると落下の原因となります。
2 アース線を接続する。
D種(第三種)接地工事を行なう。
接地が不完全な場合、
火災・感電の原因となります。



器具の取付方法(続き)

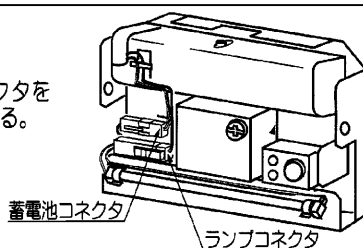
5 蓄電池コネクタ接続

- 1 コネクタを確実に接続する。
接続が不完全な場合火災・非常点灯しない原因となります。
- 2 コネクタ・リード線を器具の奥に押し込んでください。
不備があると断線による火災・感電の原因となります。

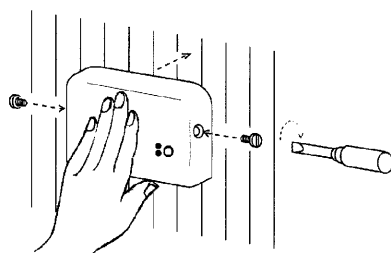


6 カバー取付

- 1 リード線、コネクタを下図の様に収納する。



- 2 カバーを壁面に押し当てながら化粧ネジ(左右2箇所)でカバーを本体に取付ける。
不備があると落下の原因となります。



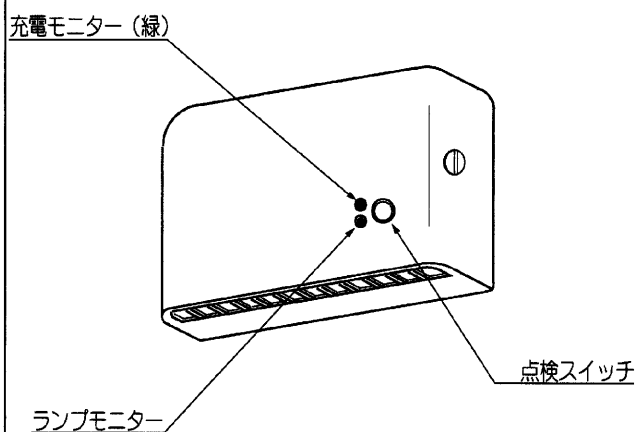
7 充電状態と非常点灯の確認

電源通電状態でランプ及び各モニターランプの状態を確認してください。

正常状態 充電モニター(緑)は点灯し
ランプモニターは消灯

点検スイッチを押し、非常点灯に切り替わるのを確認する。
点検中、充電モニター(緑)は消灯

(注) 正常に動作しない場合は(故障かな?と思ったときは)を参照し確認してください。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがあるなどの異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。

⚠ 注意

- ランプ両端のゴムブッシングおよびブロックは、絶対に外さないでください。感電の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しないでください。感電・やけどの原因となります。蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・感電・破裂・やけどの原因となります。
- 照明器具には寿命があります^{※1}。3～5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。放置すると、火災の原因となることがあります。

※1 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し蓄電池は、4～6年です。

使用上のご注意

- コネクタ、リード線は(器具の取付方法)、(お手入れ・交換部品)にしたがい処理してください。
- 充電モニター(緑).....蓄電池充電中は緑色のモニターが点灯します。
- ランプモニター.....ランプモニターは、ランプの寿命や異常などをお知らせするものです。
【赤色点滅】 ランプ交換時期の目安です。器具設置後又は、ランプ交換後約6年半をタイマーでカウントし、ランプ交換時期の目安を赤色点滅でお知らせします。
【赤色点灯】 ランプ又は、ランプの接続に異常が発生しています。
ランプモニターが点滅したら(ランプの交換方法)にしたがって交換してください。
(注) ランプモニターが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

故障かな？と思ったときは

●表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼してください。

現 象	考えられる原因	処 置
ランプが点灯しない	インバータ発振停止モードになっている。	点検スイッチを押す(それでも点灯しない場合はリセットスイッチを押す)。
	ランプコネクタが外れている。	ランプコネクタを確実に接続して点検スイッチを押す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを押す。
	消灯スイッチがOFFになっている。	消灯スイッチをONにしてください。
充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタが外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。	点検スイッチの引っ掛かりを直す。
ランプモニターが点滅している	ランプの寿命である。	ランプを交換して、リセットスイッチを押す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを押す。
ランプモニターが点灯している	ランプコネクタが外れている。	ランプコネクタを確実に接続して点検スイッチを押す。
	ランプが破損している。	ランプを交換して、リセットスイッチを押す。
非常点灯しない	蓄電池コネクタが外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
	蓄電池の充電不足である。	24時間以上充電する。
短時間しか点灯しない (20分未満)	蓄電池の寿命である。	蓄電池を交換する。
非常点灯中に20分以上点灯後、 突然消える	蓄電池の過放電を防止するため、ある電圧までさがると消灯します。正常な動作です。	

保証について

- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラストを含む）については3年間です。
- ランプ（LED電球やLEDユニットフラット形を含む）点灯管、電池などの消耗品や、セード、リモコン送信器は対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合は、無償修理させていただきます。

保証の免責事項

- 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
 - (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2)お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (4)車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5)施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6)法令、取扱説明書で要求されている保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7)日本国内以外での使用による故障及び損傷
- 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

修理を依頼される時

- 保証期間中は、**「お買い上げ日を特定できるもの」**を添えてお買い上げの販売店（工事店）までお申し出ください。
- 保証期間が過ぎているときはお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。
- その際は器具の形名、お買い上げの時期をお忘れなくお知らせください。

部品について

- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。補修用性能部品とは、その部品の機能を維持するために必要な部品です。（セード・グローブなどは含まれません。）

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048（通話料：無料）

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772（通話料：有料）
FAX 0570-000-661（通信料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

○設置年月日 年 月 日

○取付場所

○器具No.

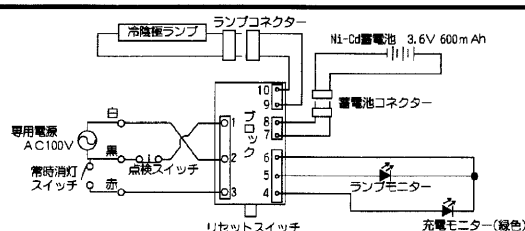
点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

器具定格・接続図

定格

	FBK-50000-PS1
定格電圧	専用電源AC100V
入力電流	0.078A
入力電力	4.5W

接続図



お手入れ・部品交換

●器具の清掃について……………水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。

シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。

変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

ランプの交換方法

ランプモニターが赤色点滅するとランプの交換時期です。(約6年半毎)

(注)ランプモニターが点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

ランプ

CF110T4EN

1 カバーを外す カバー	4 ランプを交換する ランプの短い方の線を左側にしてください。 コネクタが接続できません。 必ずランプの両端部を持ってランプホルダーに取付けください。 ランプ破損の原因となります。	6 リード線、コネクタを下図の様に収納する。
2 ランプをランプホルダーから外す 必ずランプの両端部を持って外してください。 ランプ破損の原因となります。 ランプホルダーを曲げないでください。 ホルダーが変形します。	5 ランプコネクタを接続する ツメの方向を合わせて赤色表示が見えなくなるまで差し込む。 接続が不完全な場合 火災・不点灯の原因となります。	7 リセットスイッチを押す 電源通電状態でランプが点灯するか確認する。 リセットスイッチ 充電モニター (緑) ランプモニター 点灯 消灯 不備があると不点灯の原因となります。
3 ランプコネクタを外す 押しながら 引き抜く 電線を引っ張らないでください。 火災・不点灯の原因となります。		8 カバーの取付 カバーを化粧ネジ(2箇所)で確実に取付ける。 不備があると落下の原因となります。

24時間以上充電しても20分間非常点灯しない場合は蓄電池を交換してください。

蓄電池の交換方法

蓄電池

3NR-AC-SNN (3.6V600mAh)

1 カバーを外す カバー	3 蓄電池を交換する。 コネクタを左上方向にしてください。 コネクタが接続できません。	5 カバーの取付
2 蓄電池コネクタを外す 押しながら 引き抜く 電線を引っ張らないでください。 火災・不点灯の原因となります。	4 蓄電池コネクタを確実に接続する。 ツメの方向を合わせて差し込む 接続が不完全な場合、 火災・不点灯の原因となります。	6 非常点灯の確認 電源通電状態で点検スイッチを押して非常点灯確認 充電モニター (緑) 点検スイッチ 点灯中、充電モニター (緑) は点灯します。 ランプモニター



Ni-Cd

この器具には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換、およびご使用済製品の廃棄に際してはニカド電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。

東芝ライテック株式会社 施設・屋外照明部

〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13 (南品川JNビル)

TEL(03)5479-1071 FAX(03)5479-3393